あまにゅう

青森県青年海外協力協会(AOCA) 機関誌
平成20年1月号 (2008,1)
発行: 青森県青年海外協力協会事務局
編集担当: 大賀重樹(5－1 ホンデュラス)

できることからしっかりと

会長　　高山幸人（5－1 ミクロネシア連邦 日本語教師）

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

★地球生活体験の伝え方を一緒に学ぼう！

我々は、地球上のいろんな場所で、途上国の自立発展のために活動しあるいは生活してきた体験を持っています。その中には、周囲の人たちに「伝えていきたい事」がいくつかあるのではないでしょうか？ それは日本では考えられないエピソードや現地の人々の生き方・知恵だったりします。それを広めることで、地球に生きる１人として自分を見つめなおし、世界の現状に対して眼を向けるきっかけなってくれればと思っています。世界平和は自分の周りから、自分のできることから。この「伝えていきたい事」を思い返したり、伝え方を一緒に学んだりする機会を設けようと思っています。今のところ８月下旬の土日を予定していますので、興味のある方はぜひご連絡ください。楽しく充実した時間をつくっていきましょう。

★シニアとの合同派遣前訓練となっています！

昨年からシニア海外ボランティア（40 歳から 69 歳）が青年海外協力隊（20 歳から 39 歳）と合同の派遣前訓練となっています（選考試験は別ですが）。現在のＡＯＣＡの規約では、「正会員は、青年海外協力隊帰国隊員で、青森県内に在住する者とする。」となっており、これについて皆さんからたくさんの意見をいただければと思っています。

今年もＡＯＣＡのみなさんにとって健康で素晴らしい１年となりますよう心からお祈り申し上げます。

ＪＩＣＡ専門家連絡会＆ＡＯＣＡによる合同パネル展開催

昨年１０月より、AOCAの高山会長、ＪＩＣＡ専門家会の小山内さん、ＪＩＣＡデスクの熊谷さんらが話し合いを進め、２月２４日に青森市のアウガ５階にある研修室でパネル展を開催するべく準備中です。多くの方の来場をお待ちしています。

青年海外協力協会機関誌

「あまにゅう」は、主に青森県出身の青年海外協力隊の参加経験者からなる団体の機関誌です。この機関誌を年４回定期的に発行することを通して、県内在住のＯＢ・ＯＧの情報交換をするほか、私たちの活動に興味のある方々に私たちの活動についての理解を求めるとともに、国際協力・国際理解の輪を広げることを目的として発行します。

「あまにゅう」の由来

「あまにゅう」は八甲田をはじめとした、高山にあり、きれいな白い花をさかせる植物です。普段は人知れず咲いているのですが、一旦山に登ると大きくてはっきりと確認できる植物です。青森に住んで、世界のことを考えながら決して途上国への情熱を忘れない、そんな協力隊経験者と通じるところがあるようで、機関誌を作ったときにその名前を採用されました。なお、名付け親は川村宏義氏「あまにゅう」の初代編集者です。

ＪＯＣＡ東北ブロック会議報告

中村信行（元－３　バングラディシュ電子機器）

各県の OV 会、JICA、JOCA の動向、活動状況など参考になる情報をたくさん得ることができました。青森県の活動報告も無事できました。

19 年度 3 次隊の派遣前訓練が行われていて、シニア海外ボランティアと JOCV が合同で行われていましたが、青森県からは、シニア海外ボランティアで訓練中の円子さんだけでしたが３０分ほど話をすることができました。

二本松訓練所長である筒井昇さんが、今月で退任されるとのことで、懇親会は筒井所長の慰労会を兼ねて行われました。

来年のブロック会議は山形県で開催される予定です。また、来年の地球生活体験学習ブロックリーダー研修会は青森県で行われる予定です。

青森県内限定発売の田子にんにく煎餅を持っていったのですが、たいへん好評でした。

参加してよかったボランティアデー

熊谷彩子（１５－１　ブルキナファソ　稲作）

１２月２日（土）、弘前市総合学習センターで「ボランティアデー２００７」が行われました。国際交流の他、環境保護活動団体、福祉団体などたくさんの団体が参加し、市民との交流を行いました。JICＡでは「世界まるごとクイズ」、「民族衣装試着撮影会」「JIC Afe」を用意しました。比較的子供たち、家族連れが多かったので、クイズやってよかったと思います（急きょ思い立ってよかった）。子どもと一緒にクイズをしているお母様がアフリカの水がない現実の写真をみてびっくりされているようでした。解説も渡したので少しは途上国について理解を深めていただいたのではないのでしょうか。

国際交流ブースは、弘前大学の留学生-韓国-（ちぢみおいしかったです）、弘前日本語クラブ、ラボ国際交流センター４団体が参加しました。その方々との交流がとても楽しかったです。高山さんと話していたのですが、津軽の人はすごく積極性があると感じました。国際交流の団体から来年の出前講座の依頼もいただきました。

クイズができたのもお忙しいのにお手伝いいただいた相馬さん、高山さん、對馬さんのおかげです。ありがとうございました。

新隊員のみなさん！　活躍を楽しみにしています

大賀　重樹（５－１　ホンデュラス　小学校教諭）

９月２１日に平成１９年度２次隊の壮行会&県庁表敬を行いました。新隊員は４名。宇野さん以外の３名が壮行会に参加されました。３名の方とも、とてもパワフルで、話しているうちに「我々も頑張らなきゃ」という気持ちになりました。高山会長から「価値観が違うけど、いろんなことを吸収してほしい。」相馬ＯＢから「一人で苦しむことが多いけど、一人じゃない。この青森のみんなが応援している。」八戸市議の伊藤さんからも「若いうちの経験は宝です。大切にしてほしい。」との話がありました。新隊員のみなさんの活躍を楽しみにしています。

１９年度　２次隊派遣

氏　　名	派　遣　国	職　種	出身地
村木　裕俊さん	シリア	果樹	弘前市
松本　浩介さん	パプアニューギニア	コンピュータ技術	八戸市
宇野　裕紀さん	ザンビア	理数科教師	黒石市
伊藤明日香さん	マラウイ	理数科教師	五所川原市

松本です。壮行会の際はお世話になりました。ありがとうございます。こちらPNGにきて１ヶ月が経とうとしています。風邪を引きましたが、いまのところ元気に順調です。現地語学訓練も終わり、２５日から任地に行きます。これからが本番なのでボチボチと頑張っていこうと思っています。

１２月１８日には、平成１９年度３次隊の県庁表敬&壮行会を行いました。今回は、ＪＶ（ＪＯＣＶ）１名の他、ＳＶ（シニアボランティア）２名の方も一緒に行いました。今年度は、派遣前訓練も、ＪＶとＳＶが一緒に行っているので、とても興味深い話を聞くことができました。シニアボランティアで派遣される円子さんは、英検準一級を五十五歳をこえてから独学で十八回の受験で取ったとのこと。そのバイタリティには頭が下がるのみです。こういった心意気で生活するというのは本当に大切だと思いました。ＯＢＯＧの中には、ＳＶでと思っている人も多いかも知れません。これから、青森でも、そういう人が増えてくるかも・・・・。

１９年度　３次隊派遣

氏　　名	派　遣　国	職　種	出身地
JV　荒屋敷恭子さん	スリランカ	養護	八戸市
SV　円子　正良さん	ザンビア	エレクトロニクス修理	十和田市
SV　五十嵐百合子さん	バヌアツ	コンピューター教育	大鰐町

写真左から円子さん・五十嵐さん・荒屋敷さんです。

今年も賑やかでした　ＡＯＣＡ大忘年会

高山幸人（５－１ ミクロネシア連邦 日本語教師）

１２月２２・２３日にＡＯＣＡ大忘年会が、八戸の新八温泉にて開催されました。幹事の山本ご夫妻、準備から色々ありがとうございました。「にんにく焼酎」もありがとうございました。おいしかったです。また「でんしゅ」獲得、おめでとうございます。三浦さん、音楽を通しての協力隊、専門家などで行かれた国のご紹介ありがとうございました。相馬ファミリー、貴重な「菊駒」ありがとうございました。南澤ファミリー、下北のジュラ紀の日本酒とビデオありがとうございました。ドリアンチップスも。大賀ファミリー、ビンゴ大会の準備等ありがとうございました。中村さん、セミプロの写真撮影ありがとうございました。今回の大忘年会に参加された方も、参加できなかった方も、今年１年大変お世話になりました。また来年度に向けてＡＯＣＡのみなさんのご協力をお願いします。そして、我々の活動を楽しいものにしていきましょう。

参加者　山本夫妻　高山ファミリー　相馬ファミリー　大賀ファミリー
南澤ファミリー　中村ＯＢ　三浦ＯＢ　熊谷ＯＧ　對馬ＯＧ

LIVE IN THE WORLD

AOCA のメールに時々便りが寄せられます。なんだか、心が元気になる贈り物のように感じます。忙しい隊員活動や海外での生活だと思いますが、楽しみにしている会員は多いのです。国内・国外をとわず気軽に便りを下さいね。お待ちしています！！

== AOCA の皆様へ ==

青森は秋らしくなって来ましたでしょうか？ここ、Sevilla（スペインからです）は、まだ日中３２度です。ところで、いつもながら活動を楽しく拝見しています。

ところで、２週間間前、バルセロナに行ってきました。５人と人数も多かったので、アパートを借り、食事もつくり、何か隊員時代を彷彿としました。以前の活動と違ってインターネットができると、全く違います。情報のリアルタイムですし。では、また、メールします。（９月末）

５－３助産婦　モルディブ
上森　友記子ＯＧより

マルハバー（こんにちは）！お元気ですか？村木です。9月 24 日に日本を発ち、シリアに来て 2週間程経過しました。私は体を壊すことなく元気でやっています。現在はシリアの首都、ダマスカスに滞在し、アーンミエ（シリア方言のアラビア語）を勉強しています。約 1ヵ月後には任地に赴任し仕事を始める予定です。

さて、シリアは現在ラマダン（断食）の真っ最中です。（今年は 9月 13 日～10 月 11 日頃まで）。ラマダン中は日が出ている間、ムスリムは飲食できません。ラマダン中のムスリムの生活は、普段とは少し変わるようです。日の出前に食事をすませ、8時頃から仕事を始めます。それからは 18 時 30 分頃まで一切飲食できません。なので、午前中は頑張って仕事をしていたシリア人も、午後になるとお腹が空いてくるためか、お疲れシリア人が増えてきます。17 時頃になると、イフタール（1 日の断食が終わった後に食べる食事）を買う人、家路を急ぐ人が増えてきます。この時間になると、タクシーに乗ろうとしても断られ、スーク（市場）でも買わないなら早く帰れ的な態度をとられます。そして、18 時になるとまるで真夜中のように町から車、人が消えます。イフタールを終え、お茶を飲み、少し休んだ後、ここからまた町が復活します。18 時にはシャッターを閉めた店も再びシャッターを開け、町は人で溢れます。22 時頃に町を歩いても、まるで昼間のように若者は買い物やお茶を楽しみ、小さな子どもは公園で走りまわっています。

まだシリアに来て日は浅いのですが、毎日が驚きの連続です。これからもいろんな形でシリアのことを紹介していきたいと思っています。そして、一人でも多くの人にシリアについて興味を持ってもらえれば嬉しいです。また、何らかの形で青森と交流が持てたらと思っています。それではまたメールします。村木　裕俊

村木さんの活動の様子が掲載されています。リンゴについての詳しい解説はおもしろいです！！
http://hotangle.jica.go.jp/mideast-euro/syr/

ミニ・インターナショナル・フレンドシップ・フェア　ＩＮ　三沢

高山幸人（5－1 ミクロネシア連邦 日本語教師）

三沢市国際交流教育センターでのミニ・インターナショナル・フレンドシップ・フェアに参加してきました。参加団体は８団体で、

① 県国際交流協会（ＪＩＣＡ青年海外協力隊等の活動紹介、協会事業お知らせ）
② 県国際課（国際交流員出身国の紹介、アメリカ・ロシア・イタリア・中国・韓国）
③ 十和田市（プロワークス十和田）（ 国際協力活動写真パネル展示等）
④ 三沢市（姉妹都市ウェナッチバレーとの交流事業紹介）
⑤ おいらせ町（世界の卓上ゲーム紹介等）　⑥六戸町（オーストラリアの環境について）
⑥ みさわ国際交流協会（アメリカ文化紹介等）　⑧Aomori AJET（アメリカンスポーツの紹介）

などでした。個人的には、世界のゲームが気に入ってしまいました。使う道具もそのへんにあるもので代用でき、ルールも簡単なのですが、少し頭を使うゲームで楽しいです。（脳トレに役立ちそうです）この展示内容のほかに、各団体で試食コーナーを設けていました。一番強烈だったのは、オーストラリアの「ベジマイト」というペースト。オージーは何にでもつけて食するそうです。そもそも酵母なので、匂いや味も？？？です。絶対お薦めはしませんが、話の種にという方にはいいでしょう。（外国人が初めて　納豆を食べるような感じでしょうか）

また、展示ホールの特設ステージでは、ミニコンサートがひっきりなしに行われました。三沢ベース関係の方の出番が多かったです。フラダンス、アメリカンポピュラーソング、エルビス・プレスリー、ベリーダンスなど。中でもエルビス・プレスリーのそっくりさんは、真っ赤な衣装に身を包み、もみあげも立派にはやして、かなりその気で歌っていました。かなりお腹のでっぱりが目立ちましたが。熱唱しながら、会場を一周して我がブースにも立ち寄り、レディースの熊谷さんと小倉さん（県協会）に握手攻めで最接近していました。二人は「近すぎ」と大爆笑でした。

さて、肝心の協力隊事業のＰＲですが、３人の方が関心を持っていると、おっしゃってくれました。１人は三沢ベース勤務の自衛官。シニアのパンフレットを持っていってくれました。あと２人は青森公立大学の２年生。わざわざ青森から会場に駆けつけてくれました。ボランティアに興味があり、高校時代から協力隊のことを知っていたそうです。職種はこれからじっくり考えることになりますが、かなり意欲満々でした。ＡＯＣＡのメールマガジンにも登録して欲しいとのことでした。一緒に参加した熊谷さん、おつかれさまでした。

ＦＭでバッチリ広報！

熊谷　彩子
（１５－１　ブルキナファソ　稲作）

９月末に、弘前の「ＦＭアップルウェーブ」で説明会の広報をしてきました。月 1 回弘前市ボランティアセンターの小田切さんという方が 30 分番組を担当しているようで、毎回ゲストをお招きしているようです。今回は私がゲストということで行いました。最初の 10 分小田切さんからいろいろなイベントの広報、そして残りの 20 分、ＪＩＣＡとは？青年海外協力隊とは？などの話と私の体験談、最後に説明会の日時を流しました。緊張しましたが、パーソナリティーの方がフォローしてくれてなかなか貴重な体験をさせていただきました。

中学生エッセイコンテスト一次審査を終えて

大賀　重樹（５－１ ホンデュラス　小学校教諭）

今年度の中学生エッセイコンテストの一次審査を行いました。10月6日（土）12：00～17：00に青森市の水産ビルの国際交流ラウンジで行いました。参加者は、相馬ＯＢ・伊藤ＯＢ・乗田ＯＢ・熊谷ＯＧ（JICAデスク）と大賀でした。昨年の５０４作品に比べると１８９作品なので少ないのですが、力作も多く、みんな黙々と審査をしました。

相馬ＯＢ「途上国の現状を知り、何かしなくては、何ができるのだろうかということについての気づきが感じられた。」

伊藤ＯＢ「けっこう国際的なテーマでありながら身近な出来事から文章を広げていたことが印象的だった。」

乗田ＯＢ「表現力の差はあったが、世界の現状に関心をもち、前向きにコンテストに取り組んでいると感じた。」

熊谷ＯＧ「思いに軽重はあったが、個人応募の作品の中にはすごく内容の濃い作品も多かった。」

私自身、文章の構成がしっかりしたものも多く、自分の考えや思いがぎっしり詰め込まれていて読み応えがあったという印象です。中央審査の結果が今からとても楽しみです。忙しい中、一次審査に協力してくださったＯＢ・ＯＧの方々ありがとうございました。

「人」　明日へのストーリー　南澤ＯＢの活躍をＨＰでチェック　！

JICA 東北 HP の１１月号に、南澤英夫ＯＢの帰国後の活躍が詳しく報じられました。題して、「身近なところから、できることを、無理なく、楽しく」です。帰国後の活躍はスゴイ。必見！　http://www.jica.go.jp/tohoku/story/story_03.html

事業報告

９月２１日（金）　平成１９年度１次隊後期　県庁表敬＆壮行会　青森市内　高山ＯＢ・渡辺ＯＢ・相馬ＯＢ・伊藤ＯＢ・熊谷ＯＢほか

９月２９日（土）　ミニ・インターナショナル・フレンドシップ・フェア（三沢）にブース参加　高山ＯＢ・熊谷ＯＧ

９月２９日（土）　生涯学習フェアにブース参加　県総合社会教育センター　瓜田ＯＢ・瓜田ＯＧ・中村ＯＢ・熊谷ＯＧ・大賀ＯＢ

１０月　６日（土）　中学生エッセイコンテスト一次審査　水産ビル　乗田ＯＢ・相馬ＯＢ・大賀ＯＢ・伊藤ＯＢ・熊谷ＯＧほか

10月17日（水）ＪＩＣＡボランティア秋募集募集説明会　八戸市　大瀬ＯＧ・小笠原ＯＧ・才神ＯＢ・對馬ＯＧ

10月26日（金）ＪＩＣＡボランティア秋募集募集説明会　弘前市　渡辺ＯＢ・中村ＯＢ・大賀ＯＢ・盛ＯＧ・奈良ＯＢ・對馬ＯＧ

10月27日（土）ＪＩＣＡボランティア秋募集募集説明会　青森市　渡辺ＯＢ・高山ＯＢ・乗田ＯＢ・對馬ＯＧ・小鷹ＯＧ

１２月　１日（土）　県国祭交流民間団体情報連絡会議　青森市　高山ＯＢ出席

１２月　１・２日　ＪＯＣＡ東北ブロック会議　福島県二本松市　国民年金健康保健センター阿多多羅（あだたら）　中村ＯＢ出席

１２月２日（日）　弘前ボランティアデー２００７にブース参加　弘前市総合学習センター　對馬ＯＧ・高山ＯＢ・相馬ＯＢ・熊谷ＯＧ

１２月９日（日）　ミニ・インターナショナル・フレンドシップ・フェア（藤崎）にブース参加　藤崎文化センター　對馬ＯＧ・相馬ＯＢ・盛ＯＧ・熊谷ＯＧほか

１２月１８日（火）　平成１９年度２次隊・ＳＶ　県庁表敬＆壮行会　青森市　はなの舞　渡辺ＯＢ・千葉ＯＧ・中村ＯＢ・熊谷ＯＧほか

１２月１９日（水）　講師派遣　青森市立油川中学校　松舘ＯＧ

１２月２２・２３日　ＡＯＣＡ大忘年会　八戸市　新パ温泉にて開催　参加多数

今後の主な予定から

1月　６日（日）　ＪＩＣＡボランティア秋募集２次選考対策勉強会　青森市　アウガ５階会議室

1月　７日（月）　ふるさと宅配発送　水産ビル5階国際交流ラウンジにて作業予定

２月２４日（日）　国際協力写真パネル展　青森市アウガ5階　会議室にて開催　多数のスタッフ及び参加を募集します

（編集後記）会報を作ってみて驚く自分、平成も２０年です。時の流れの速さを感じます。みなさん、今年一年が素敵な年になりますように。世界中が平和でありますように。この「あまにゅう」へのご意見ご感想は大賀まで．メールアドレスは、momotarooga@ybb.nejp です。

電話＆FAX は、ＪＩＣＡ青森デスクの熊谷までお願いします。（電話０１７－７３５－２２４９　FAX０１７－７３５－２２５２）